【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2013-512747(P2013-512747A)
【公表日】平成25年4月18日(2013.4.18)
【年通号数】公開・登録公報2013-018
【出願番号】特願2012-542617(P2012-542617)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　5/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　5/20

【手続補正書】
【提出日】平成25年11月27日(2013.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バレルから半径方向に突き出たフランジを有する注射器バレルへ、駆動要素からの軸方向の力を伝達するための注射器フランジ保護具であって、
前記フランジの少なくとも一部分の軸方向後方に配置されるように構成されるスペーサ要素であって、更に、スペーサ要素は、前記スペーサ要素の長手軸から第１の半径距離にある１つまたは複数のポイントを介して前記駆動要素と連絡し、かつ前記スペーサ要素の長手軸から第２の半径距離にある１つまたは複数のポイントを介して前記駆動要素からの軸方向の力を前記バレルへ伝達するように構成されており、
前記第２の半径距離は前記第１の半径距離よりも小さい、注射器フランジ保護具。
【請求項２】
前記スペーサ要素は、前記フランジの実質的にすべてから軸方向に離間して配置されるように構成されている、請求項１に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項３】
前記スペーサ要素は、前記バレル内へ挿入するための、軸方向に延伸した内側差込口と、前記第２の半径距離における１つまたは複数のポイントを介して前記バレルへ前記軸方向の力を伝達するための中間部分と、前記第１の半径距離における１つまたは複数のポイントを介して前記駆動要素に連絡する外縁と、を備える、請求項１または２に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項４】
前記スペーサ要素は、前記中間部と前記外縁との間にテーパがつけられている、請求項３に記載の注射器
【請求項５】
前記第２の半径距離は前記バレルの半径に等しい、請求項３または４に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項６】
前記スペーサ要素は可撓性を有する、請求項１－５のいずれか１項に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項７】
前記スペーサ要素は注射器ホルダの固定手段に固定されるように構成された、請求項１

－６のいずれか１項に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項８】
前記固定手段は前記注射器ホルダから軸方向に延びるフックを備える、請求項７に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項９】
前記スペーサ要素から延伸し、かつ前記スペーサ要素を前記フランジに固定する、軸方向に延びるフックをさらに備える、請求項１－８のいずれか１項に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１０】
前記スペーサ要素は注射器を保持するための注射器ホルダと一体形成されている、請求項１－６のいずれか１項に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１１】
前記スペーサ要素は、軸方向に延伸する複数の脚を介して前記注射器ホルダに一体接続されている、請求項１０に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１２】
前記スペーサ要素は、組立時に前記注射器を前記注射器ホルダ内に取り付けられるようにするために、半径方向に撓んで離間することのできる２つ以上の部品で構成される、請求項１０または１１に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１３】
前記複数の軸方向に延伸する脚のそれぞれは可撓性を有し、それにより２つ以上の部品が半径方向に撓んで離間することができる、請求項１１に従属する場合の請求項１２に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１４】
前記スペーサ要素は、前記スペーサ要素の長手軸から前記第１の半径距離にある１つまたは複数のポイントを介して前記駆動要素と連絡するための、１つまたは複数の切欠きを備え、
前記１つまたは複数の切欠きはそれぞれ、前記スペーサ要素の長手軸に対して実質的に直交する平面を有する平坦基体と、前記スペーサ要素の長手軸に対して実質的に平行に伸びる側壁とを備える、請求項１－１３のいずれか一項に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１５】
前記スペーサ要素は２つの部品で構成され、かつそれぞれの部品が１つの切欠きを備える、請求項１２に従属する場合の請求項１４に記載の注射器フランジ保護具。
【請求項１６】
一定量の薬剤を保持するバレルと、前記バレルの中を軸方向に移動可能なプランジャと、前記バレルから半径方向に突き出たフランジとを備える注射器であって、請求項１－１５のいずれか１項に記載の注射器フランジ保護具をさらに備える注射器。
【請求項１７】
請求項１６に記載の注射器を備える自動注射器具。
【請求項１８】
前記駆動要素が、前記自動注射器具の外側ハウジングとバレルおよびプランジャとの間の内側ハウジングを備え、前記内側ハウジングはエネルギー源によって、
前記内側ハウジングが前記スペーサ要素と連絡し、使用時に前記プランジャとバレルが針の少なくとも一部を前記外側ハウジングの外へ移動させるように軸方向に移動可能な第１の位置と、
前記内側ハウジングが前記プランジャと連絡しているが、前記スペーサ要素とは連絡せず、使用時に前記針を通して薬剤を押し出すために、前記プランジャがバレルの内部へ軸方向に移動可能である第２の位置と、
前記内側ハウジングが前記プランジャとも前記バレルとも連絡せず、使用時に前記針を前記外側ハウジング内へ後退させるために、前記プランジャとバレルが後退可能である第３の位置と、の３つの位置の間を移動可能である、請求項１７に記載の自動注射器具。